

(1)



在京古高同窓会会報  
第64号

〒352-0031  
新座市西堀2-17-37  
在京古高同窓会事務局

☎ FAX (042) 494-1598  
URL: http://在京古高同窓会.com  
Email: skyoji@jcom.home.ne.jp

発行責任: 大友 文博  
編集長: 亀井 明  
印刷: (株)ケーヨー

新年を

共に祝いましょう

会長 鹿野 軍勝



皆様、令和という新しい時代の初めのお正月を迎えて、如何お過ごしでしょうか。

昨年は、新天皇のご即位という目出度い年ではありましたが、何と言っても度重なる台風と豪雨による被害の大きさが記憶に鮮やかに残る年でした。本日に、自然は大きな恵みを下さるとともに、時には大きな災いをもたらすものなのです。自然とどう向き合っていくべきなのか、なかなか答えのない問題ではありますが、せいぜい自然にたいする畏れや敬い、失わないよう心掛けたいものと思っております。

国会では、総理主催の「桜を見る会」のこともめめていられるようです。消費税の引き上げは、さしたる悪影響もなく推移している様子です。しかしながら、経済全般についての展望は、決して明るくないようです。

東京でオリンピック・パラリンピックが開かれる年ですので、是非とも明るい年であってほしいと願っています。私が気にしていることを挙げるとすれば、米中の対立、日韓の冷え込み、英国のEU離脱不決定などです。

さて、米中の対立ですが、これだけ国の成り立ち・歩んできた歴史・社会の決まり事などが大きく異なっている両国が対立することには避けたい事なんでしょう。香港での出来事やウイグル自治区での強制隔離を見てもわかるでしょう。そうは言いながらも、こと貿易に關する争いごとについては、何とか折り合いをつけて欲しいものです。

次に、日韓の冷え込みですが、両国は一方が肩を怒らせると他方も肩を怒らせるという不幸な関係にあると思わざるをえません。そう言ってしまうよりも行きませんで、ここは日本側が大局を見据えて何とか知恵を出しても良いのではないのでしょうか。

最後に、昔住んで懐かしい英国についてですが、英国は「今いざこ」といった気持ちでしょうか。離脱すると決めたのだから、離脱

在京同窓会メモ

- ・会計年度は4月～翌3月、年会費は2,000円です。振り込み用紙が同封された方は会費納入をお願いします。
- ・会の健全運営のため、賛助金のご協力をお願いします。
- ・次回会報第65号は2020年6月1日発行予定、原稿は常時受付。

してみたいいでしょう。その上で、やはりEUの中にならぬ方が良く、それでは、1月25日の新年会でお目にかかりましょう。

本校の近況

古川高等学校長 澁谷 貴彦



在京古高同窓会のみなさま、お元気でしょうか。去る6月30日の総会の際には、鹿野会長さんをはじめ多くの方々とお話しをさせていただきました。また、10月24日のふるさと探訪ツアーの際にも本校にお立ち寄りいただき、光栄に存じます。参加されたみなさんも、当時の校長先生方の写真を前にして昔話に花が咲いていたようで、うれしく思いました。

さて、本校の今年度のここまでを振り返りますと、4月の対築館高校定期戦には11勝対4勝で大勝利し、昨年の雪辱を果たしました。続く県高校総体では生徒たちはがんばったものの、東北大会への進出は水泳部のみでした。昨年来ご

期待いただいた野球部も、夏の甲子園予選では健闘したもののベスト16にとどまりました。一方、8月初めには、合唱部の女子15名が佐賀県で開催された全国高校総合文化祭に県代表として出場しました。その際には、会場に地元佐賀県在住の合唱部OBの大先輩が駆けつけてくれ、生徒たちも感激したそうです。

そして、秋以降には生徒の活躍が増えました。陸上競技部、合唱部、ソフトボール部、囲碁将棋部(囲碁)がそれぞれ東北大会に、文芸部が東北・北海道大会に、そしてソフトボール部は2名が茨城国体に出場しました。この後も、囲碁将棋部(将棋)が東北大会及び全国大会に出場する予定です。

また、高校の現状としては、盛んに報道されていた民間の英語試験の導入延期をはじめとする大学入試改革の混乱への対応、今の中学3年生から行われる公立高校の新入試制度の円滑な運営、そして小中学校では導入が進むものの、県立高校には未だに教室に入らないエアコン、そして働き方改革のかけ声は出されつつも、実際の周りの環境が全く整わないために苦心する学校現場の実情など課題は山積しているわけですが、生徒たちのために日々学校運営をしていくことに変わりはありません。

進路達成のためにまさに今努力している目の前の3年生はもとより、学びを深め、文武両道を真に実現できる生徒たちの育成のために、本校としては努力を続けてまいります。

在京同窓会の方々におかれましては、今後とも本校の生徒たちへ様々なご協力・ご支援を賜りますよう、よろしくお願いたします。

お知らせ

第27回 旧古川市内四校関東同窓会「新年の集い」

- 【日時】 令和2年1月25日(土)  
11:00～総会  
11:40～公演「あすか清美ショー」  
12:55～15:00 懇親会
- 【会場】 上野精養軒  
電話 (3821-2181)
- 【会費】 8,000円
- 【交通案内】 JR上野駅公園口から徒歩5分



【あすか清美】

(本名: 佐々木 紀代子)  
古川学園昭32卒 美里町北浦出身  
日舞から新日本舞踊「魁」あすか竜に入門  
平成26年股旅新舞踊全国大会で優勝  
現在: 清美会会主として、東北新舞踊協会の公演や各種団体のボランティアで活躍中



# 新年のご挨拶

古川高校同窓会

会長 伊藤 貞嘉



在京同窓生の皆様、明けましておめでとございます。本年が皆様にとって素晴らしい年になることを祈念しております。

はじめに、古高サポート基金の創設に際しては、多くの方々にご支援いただきました誠にありがとうございます。また、度重なる台風により被害にあわれた皆様には、心からお見舞い申し上げます。

2019年はラグビー・ワールドカップで盛り上がりました。ワンチームのもとに、全員が死力を尽くす日本チームの姿と活躍は感動的でした。そして、「ワンチーム」が流行語年間大賞に選ばれた事は大いに納得できます。

日本は少子高齢化で世界の先頭をきつていますが、平均寿命と健康寿命のギャップも10年以上あり、これも世界トップクラスです。

要介護者も増加を続けています。要介護になる原因としては、脳卒中、心不全、認知症と高血圧関連の疾患が約半数を占めます（高血圧は認知症の大きなリスク因子）。したがって、健康寿命の延伸のためには、高血圧対策が最重要です。

しかし、我が国の実態は深刻です。4300万人の高血圧患者がおり、その半分しか治療を受けておらず、血圧が140/90未満にコントロールされているのは、さらにその半分となります。

高血圧の診断や治療はとても進歩しているのに、高血圧が死亡や要介護の最も大きな要因となっており、高血圧は自覚症状も無いため治療しませんが、また、血圧管理に重要な減塩も難しいことが大きな原因です。

解決策は「ワンチーム」です。住民を啓蒙し、保健師などが地道に活動してかかりつけ医に繋ぎ、さらに、産業界の参入により、美味しい減塩商品を手ごろな値段で開発するなど、多くの立場の違った人々がワンチームになることが不可欠です。

現在は美味しい減塩商品が数多く開発されています。実際、このような多角的な取り組みで成果を上げている市や町があり、下呂市や北海道の増毛町ではこの3年ほどで、健診で160/100を超える人の数は半分に減っています。

最近NHKなどでも高血圧や減塩を取り上げる番組が多くなっているようです。私も昨年の4月に大学院で勤務していますが、保健師や行政との仕事が増えています。地道な活動で、社会貢献をしたいと考えています。

同窓会では母校の活動を支援するための基金の創設、同窓会独自のホームページの開設などの取り組みを行っています。同窓会発展のために、ご支援をよろしくお願いいたします。最後になりますが、在京同窓生の皆様方へのご健康とご多幸を心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶と致します。（昭47年卒）

# 近況報告

事務局長 遠藤 直樹



在京古高同窓会の皆様、新年あけましておめでとございます。

19号で被害に遭われた方に謹んでお見舞い申し上げます。新聞報道等であるとおりの宮城県各地でも被害は大きく、古高通学圏内に限れば、吉田川の氾濫による鹿島台地域居住の生徒に床上浸水などの大きな被害が発生しました。11月に入っても厳しい生活状況は変わらず、浸水した1階部分の復旧は進まず、2階での不自由な生活を余儀なくしている状況です。同窓会としましては普通の生活に一刻でも早く戻れるようお見舞いをお渡ししたところでございます。

古川高校同窓会の新たな取り組みとしましては、今年度から古川高校サポート基金がスタートしました。趣旨としましては在校生の生徒会活動や学習環境整備の支援を今度以上に手厚くおこないたいという趣旨の元に設立いたしました。ここ数年に元には昨年大会進出における応援生徒の派遣、また一昨年のソフトボール部の全国選抜大会への補助などを必要に応じて同窓会各支部に寄付をその都度お願いし、協力をいただきましたがバックアップを図っていただきました今回のサポート基金設立によっていかなる場合でも支援できるよう体制を強化したものであります。

なにとぞ本基金の趣旨に賛同いただき来年以降もご協力をお願いいたします。また、同窓会活動の広報を充実させるべくこの度ホームページを開いたいたしました。同窓会各支部の活動の様子や近況などを中心に更新していきたいと考えています。古高の歴史のページでは古き良き時代の古高の画像や今では行われていない仙台駅前エールなどを動画でご覧いただくことができます。是非多くの方にアクセスしていただき、直近の情報や昔を懐かしんでいただければと思います。アドレッシングは以下の通りとなります。

さて在校生のこの秋以降の活躍ですが例年の活動成績と比較すると若干もの足りない結果になっております。運動部では県新人大会において陸上部男子ハンマー投げで3位に入賞し東北大会出場、同じくソフトボール部が準優勝し東北大会へ出場しました。文化部では合唱部が東北大会出場、囲碁将棋部では東北高校囲碁選手権大会で級位者の部で優勝、また文芸部で北海道・東北文芸大会で優秀賞を受賞し来年、高知県で行われる全国総合文化祭への出展が決定しました。来年度に向けて各々が一生懸命練習に励んでおりますので特に運動部には今年以上の結果に期待したいと思っております。

最後に本同窓会伊藤貞嘉会長がこの度紫綬褒章を受章いたしました。伊藤会長は長年の慢性腎臓病と高血圧の研究により、新たな診断・治療法を開発するなどの優れた業績が評価され今回の受賞となりました。古高同窓生として誇りに思うとともにこの場をお借りしてお祝い申し上げます。これからも本同窓会への変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げます。（昭61年卒）

情報処理のエキスパート / 完成図書・デジタル化総合サポート

**電子納品作成支援 おまかせください!**

導入から成果品まで専任スタッフがきめ細かく対応しバックアップいたします。

専任スタッフ・有資格		
CALS/ECインストラクター	10名	
電子ファイリング	6名	
文書情報管理士	13名	
	2級	10名
	3級	3名
CAD利用技術者	2級	1名
SXF技術者		1名
ドローン操縦士回転翼	3級	1名

代表取締役会長 **早坂清吉** (昭和29年卒)

株式会社 **ケーヨー** <http://www.keyo.co.jp> E-mail: info@keyo.co.jp  
 本社 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-1-6  
 ☎ 03-3242-0191 FAX 03-3242-0167

**TECHNOLOGY of MAGNETIC PRODUCTS**

**EMC対策部品**

- ノーマルモードラインフィルター
- コモンモードラインフィルター

**チョークコイル**

- スイッチング電源用ブーストチョークコイル
- インバータ家電PFC用ブーストチョークコイル

TMP株式会社  
 代表取締役 佐藤勉 (昭和42年卒)

神奈川県大和市大和南2-1-16 大和ホワイトビル 7F  
 TEL 046-260-0788 FAX 046-260-1524

令和元年度  
総会報告

総会に出席して

平成から令和の新しい時代となつて初めての在京古高同窓会の年次総会が、まだ紫陽花の花咲く上野の森の上野精養軒にて6月30日に開かれました。

私は、昭和57年卒であり、普段の職場では大先輩扱いされている身ですが、本総会では、並み居る昭和卒の諸大先輩が大半である中で、ほぼ最年少の出席者となりました。

大学生時代を含め、大崎の地を離れてから30年以上が経ち、気が付けば世間で言う役職定年の年齢となつていたところ、たまたま妻（小牛田出身）の親戚が本同窓会の佐々木事務局長と同じ古中同級生というので、本同窓会への出席を勧められ、今般初めて出席をさせて頂きました。

当初予想では、昔話を中心にごく落ち着いた感じの会だろうなと思つていたのですが、あに囂らんに、伊藤会長の世界を舞台にした多方面での活躍に驚き、また懇親会の部での酒瓶を持って各テーブルを精力的立ち回る諸大先輩のお姿にまた驚くなど、予想をはるかに上回る活気ある展開となつて、驚くこと一度や二度ではありませんでした。

正直なところ、最初はちよつと大変な所(?)に來てしまつたかなと思つていたのですが、途中より大崎弁もどんどん飛び交い、それにすっかり支障なく大崎弁で答えていた自分がいたりするなど、いつの間にかやら大先輩方のパワーに飲み込まれていた次第です。

総会は、元応援団長の阿部さんのエールの下、校歌斉唱がなされ、鹿野会長のご挨拶、また議案審議

と続き、その後、古高の兄弟校である築館高校同窓会会長や澁谷貴彦新古高校長のほか来賓の方々からの挨拶がありました。

続いての講演の部では、伊藤同窓会会長より「一期一会」という題目での講演があり、東北大医学部教授も歴任され、米国に於いても卓越した研究成果を挙げられた方で、かなり難しく堅い内容の講演を予想していたのですが、実際には、「少年老い易く学成り難し」との御尊父の教えがあった少年時代からの、伊藤会長のお人（大河）ドラマを見るような内容でした。

「伊藤であればいやとは言わないだろう」という理由(?)で医学部の指導教授から突然出された米國留学の命令を受け取られ、また米國の留学先でも誰も手を付けたくないような研究テーマを敢えて選ばれ、にもかかわらず非常に優れた研究実績を挙げられたことなどを、(実際には幾多の困難があったことは容易に想像できるものの)とても楽しく語られる伊藤会長の話術にすっかり引き込まれてしまった講演でした。



考えてみれば、本同窓会のように、激動の昭和時代を中心にご活躍された大先輩たちが、これだけの幅広い年代と大人数で集う会というのは、非常に希有なものであると思われ、このような先達が集う会での様々な交流を通じて新たに学ぶことや、また気付かされるが多々あること

を実感した次第です。

私は、この年齢になつての初めての参加とはなりませんが、古高という同じ学び舎出身者というだけで世代を超えた交流が図れる温故知新の貴重な場でもあり、今後も引き続き参加していきたいと思つると同時に、是非とも、平成以降の卒業生も積極的に参加して頂ければと思つております。

なお、総会で、新幹事として相澤肯英(昭47)、菅原祐二(昭56)の二名が加わりました。



令和元年度 定時総会出席者名簿 (敬称略)

〔来賓7名〕

伊藤 貞嘉 (同窓会会長 S47卒 米山出身) 澁谷 貴彦 (校長 郡山出身) 高橋 英文 (大崎市副市長 S47卒 古川出身)  
鈴木 忠司 (在仙同窓会会長 S49卒 中新田出身) 遠藤 直樹 (同窓会事務局長 S61卒 田尻出身)  
駒井 隆治 (築高同窓会東京支部長 S46築高卒 築館出身) 三好 加津子 (築高同窓会東京支部長 S47築女卒 築館出身)

〔会員55名〕(カッコ内は出身地)

昭27	氏家 明朗 (岩出山)	昭30	三塚 正志 (高清水)	昭36	鹿野 軍勝 (東大崎)	昭41	渋谷 量 (色 麻)	昭47	相澤 司 (古 川)	昭51	早坂 時男 (古 川)
	佐藤 清勝 (中新田)		横山 武 (松 山)		菅野 俊次 (古 川)	昭42	大友 文博 (田 尻)		相澤 肯英 (小牛田)	昭52	阿部 眞 (稲 葉)
	中森 高 (岩出山)		渡辺 吉郎 (志 田)		児玉 隆行 (古 川)		佐々木昭美 (田 尻)		板垣 基樹 (中新田)	昭55	亀井 明 (小牛田)
昭29	高橋 清亮 (富 永)	昭31	相澤 昭男 (三本木)		齊藤 武夫 (敷 玉)		佐藤 勉 (宮 崎)		小嶋 進 (色 麻)	昭57	赤間 英一 (三本木)
昭30	浅野 和夫 (東小野田)		相原 克彦 (志 田)		高橋 幸裕 (古 川)		澁谷 誠一 (古 川)		大友 芳夫 (浦 谷)		高橋 常幸 (小野田)
	尾崎 光彦 (田 尻)	昭33	大友 正行 (松 山)	昭38	佐々木恭次 (古 川)		門田 芳司 (田 尻)		佐々木 保 (古 川)		
	門脇喜代志 (東大崎)		高橋 俊裕 (富 永)	昭39	後藤 雅正 (宮 崎)	昭44	相澤 次雄 (富 永)		松木 秀一 (高 倉)		
	門脇 敏明 (東大崎)	昭35	遠藤 文雄 (鳴 子)	昭40	大友 泰司 (小野田)		山中 政法 (中新田)	昭48	伊藤 健二 (中新田)		
	曾根 研一 (西大崎)		佐々木恭二 (小牛田)	昭41	石川 厚 (田 尻)	昭46	笠間 邦彦 (浦 谷)		加藤 敏朗 (古 川)		
	高橋 廣 (小野田)		佐々木武磨 (敷 玉)	昭41	菊地 務 (古 川)		鈴木 博 (瀬 峰)	昭51	菅原 博之 (鹿島台)		

<第1号議案> 平成30年度 活動報告

平成30年4月1日～平成31年3月31日

年月日	活動内容	場所
平成30年		
5月19日(土)	在仙古高同窓会総会出席(鹿野会長 佐々木事務局長)	仙台市「パレス宮城野」
5月27日(日)	会報「蛭雪61号」と総会案内発送(会員807名)	信陵会館
6月30日(土)	定時総会、懇親会 講演：荒川忠一氏(東大名誉教授、京大特任教授、名大客員教授) 演題「風力発電の国内外の最新動向と日本の採るべき方向性」	上野精養軒
7月7日(土)	築館高校同窓会東京支部総会出席(鹿野会長 山中幹事)	KKRホテル東京
8月12日(土)	本部同窓会総会出席(鹿野会長 大友副会長 亀井副会長)	大崎市「グランド平成」
10月20日(土)	会員交流会「江戸・東京 探訪ツアー 2018」 (横須賀の記念艦「三笠」探訪と中華街)	横須賀～横浜
12月16日(日)	会報「蛭雪62号」及び四校合同新年会案内の発送(会員806名)	信陵会館
平成31年		
1月26日(土)	「第26回 旧古川市内四校関東同窓会 新年の集い」開催 (幹事校：古川工業高校同窓会関東支部) (古高 63名、黎明 53名、古工 48名、古学 43名) (四校来賓 2名、計209名出席)	上野精養軒
2月28日(木)	古高同窓会入会式／在京同窓会の紹介(大友副会長)	古川高校
3月1日(金)	古高卒業式出席、並びに「東京蛭雪賞」授与 (鹿野会長、大友副会長)	古川高校

- ◎役員・幹事会：信陵会館
- 第1回 H30年 5月27日(日) 14名  
(会報・新年会案内発送、他)
  - 第2回 H30年 10月13日(土) 13名  
(在京・本部総会報告、62号会報発行内容他)
  - 第3回 H30年 12月16日(日) 18名  
(会報・新年会案内発送、他)
  - 第4回 H31年 3月23日(土) 12名  
(四校新年会報告、定時総会準備他)

- ◎四校合同幹事会：上野ぶんか亭
- 第1回 H30年 10月26日(金)
  - 第2回 H30年 11月22日(木)
  - 第3回 H31年 1月18日(金)
  - 第4回 H31年 2月23日(土)
- 古高出席者：鹿野 曾根 児玉 佐々木(恭) 山中 阿部

<第3号議案> 令和元年度 活動計画案

平成31年4月1日～令和2年3月31日

年月日	活動内容	場所
令和元年		
5月11日(土)	在仙古高同窓会総会出席 (鹿野会長 佐々木事務局長 佐々木昭美幹事)	仙台市「パレス宮城野」
5月26日(日)	会報「蛭雪63号」と総会案内発送(会員791名)	信陵会館
6月30日(日)	定時総会、懇親会 講演：伊藤貞嘉氏(古川高校同窓会会長) 演題「一期一会」	上野精養軒
7月6日(土)	築館高校同窓会東京支部総会出席	KKRホテル東京
8月11日(日)	本部同窓会総会出席	大崎市「グランド平成」
10月24日(木)	会員交流会「ふるさと探訪ツアー 2019」 ～大崎耕土の世界農業遺産と大崎氏のルーツを辿って～	松山～田尻～鳴子他
12月15日(日)	会報「蛭雪64号」及び四校合同新年会案内の発送	信陵会館
令和2年		
1月25日(土)	「第27回四校合同新年会」開催 (幹事校：古川学園高校同窓会関東支部)	上野精養軒
2月29日(土)	古高同窓会入会式／在京同窓会の紹介(大友副会長)	古川高校
3月1日(日)	古高卒業式出席、並びに「東京蛭雪賞」授与	古川高校

- ◎役員・幹事会：
- 定例は年間4回、その他必要事案により関係役員・幹事会を開催
- 第1回定例 5月26日開催：総会運営他
  - 第2回定例 10月13日開催：総会報告他
  - 第3回定例 12月15日開催：四校新年会準備他
  - 第4回定例 3月下旬開催：総会準備他

- ◎四校合同幹事会：
- 四校合同新年会(R2.1.25)に向けて、10月下旬から1月中旬までの間に3～4回開催予定。
- 古高出席者：鹿野 曾根 児玉 佐々木(恭) 後藤 山中 阿部

<第2・4号議案 平成30年度決算／令和元年度予算>

<収入の部>

科目	H30年度決算額(円)	摘要	令和元年度予算額(円)
年会費	528,000	262名 264口(29年度2口含む)/260名	520,000
賛助金	476,000	160名	480,000
広告料	160,000	企業・個人広告	110,000
寄付・祝儀金	0		10,000
雑収入	6,934	総会他剰余金	20,000
収入計	1,170,934		1,140,000
前期繰越金	834,100		1,062,220
合計	2,005,034		2,202,220

<支出の部>

会議費	26,668	信陵会館使用料、役員・幹事会資料他	40,000
図書印刷費	382,830	会報、案内状、封筒他	420,000
事務用品費	6,940	コピー・文具代他	20,000
事務所経費	20,000	信陵会館年間契約使用料他	20,000
通信費	252,075	郵送料、宅急便代他	280,000
慶弔費	92,266	東京蛭雪賞、祝儀、生花代他	120,000
旅費交通費	52,200	本部総会、卒業式出席旅費他	110,000
活動費	74,531	HPメンテナンス費、「母校をたずねる」他	110,000
雑費	35,304	年会費振込手数料他	60,000
予備費	0		1,022,220
支出計	942,814		2,202,220
次期繰越金	1,062,220		0
合計	2,005,034		2,202,220

# 「ふるさと」探訪ツアー2019

## 大崎耕土の世界農業遺産と大崎氏のルーツを辿って

今年7回目になる「ふるさと探訪ツアー」は、世界農業遺産に認定された大崎耕土の伝統的水管理システムの隧道(貝塚)・潜穴群(萱刈、後藤江)を見ながら、江戸時代以来の先人のためまめ労苦を偲びました。同時に大崎氏の館跡(師山・小野・中新田城址)や梅香院を巡り、更に小松寺に900年以上前に安置された重文の千手観音座像が明治以降置かれていた薬師神社を探訪しました。特に伊達氏と激しい戦いがあった中新田城跡にある長興寺門脇龍右住職(昭35年卒)の懇切丁寧な大崎氏の説明には感銘を受け、境内の初代斯波家兼(大崎氏祖)像は記念すべきものでした。

夜の懇親会、岩出山城址、中新田城址では地元同窓会支部の皆様による案内・交流が持って大変お世話になりました。改めて感謝いたします。(世話人昭38年佐々木恭次)

### 「ふるさと探訪ツアー2019」参加者

(総勢16名) (敬称略)

#### 【本部同窓会】

佐藤 茂樹 (昭45)、奥山 恒義 (昭45)

#### 【在仙同窓会】

佐々木 武彦 (昭30)、佐々木 元弘 (昭34)

豊田 永恵 (昭34)、森田 弘孝 (昭34)

菅原 四郎 (昭38)

#### 【在京同窓会】

横山 武 (昭30)、鈴木 邦夫 (昭33)

三浦 義明 (昭33)、渡邊 紘也 (昭33)

鹿野 軍勝 (昭36)、佐々木 恭次 (昭38)

石川 厚 (昭41)、大友 文博 (昭42)

三浦 和夫 (昭42)

## 「ふるさと探訪ツアー2019」に参加して 昭34年卒 佐々木元弘

在京同窓会(鹿野軍勝会長)主催の「ふるさと探訪ツアー」に私たち士志の会はタイトルに惹かれて参加しました。今回のツアーのポイントには4つあります。

- 1.平成29年国連食糧農業機関(FAO)の世界遺産に認定された大崎耕土の伝承的水管理システム
- 2.大崎氏の史跡を辿りながらの周遊見学
- 3.鳴子温泉郷の現状把握と鳴子峡の見学
- 4.岩出山城とその周辺の見学

この水質管理システムの構築は、中期にかけ構築されたようであり、とりみず堰(せき) 隧道、潜穴、水路などの水利施設を流域全体に築いた主な数カ所を見学して参りました。印象に残ったのは貝塚隧道、萱刈潜穴、後藤江潜穴、岩出山内川など。



2.大崎氏の史跡を辿りながらの周遊見学

次に、室町時代初期から大崎氏は、足利尊氏の流れをくむ名門・斯波氏一族である斯波家兼(初代大崎氏)は、若狭守護を務める

多彩な泉質を楽しめる鳴子温泉郷は「鳴子温泉」「東鳴子温泉」「川渡温泉」「中山平温泉」「鬼首温泉」の5カ所の温泉地からなる東北で一番の温泉郷であります。

しかし、かなりの空き家

が目立ちますので、補助金を含め大崎市へのテコ入れが必要と感じました。また、鳴子峡は、両岸に切り立った奇岩怪石があり、中山平側入口から回顧橋まで約350m、鳴子側入口(約230m)を一部開放中です。8年前の大震災前からは半分以上になっていたので散策路の強化拡充を望みます。

また、恥ずかしながら紅葉の鳴子峡は初めてで、今まで見たこともなく旬の紅葉を味わうことができました。紅葉がこのように綺麗に色づくものとは思っていませんでした。都会では味わえない景色でした。こういった観光遺産が大崎地区にあるのですから、我が故郷もまだまだ捨てたものではないなあと感じました。これを皮切りに宮城県、特に大崎地区についていろいろな角度から見てみたいと思います。

日本旅行社の温泉ランキング100選の中で鳴子温泉は第18位。第1位は群馬県草津温泉、第2位は大分県別府八湯温泉、第3位は岐阜県下呂温泉で第18位が宮城鳴子温泉です。

4.岩出山城とその周辺の見学

伊達政宗公が福島・米沢城から一番先に宮城に入ったのが岩出山城です。ここには10年ほどおり、その後仙台青葉城を構築したようです。岩出山城の復元を望みます。大崎市は観光立国の4つの条件に適合しております。

①気候風土：世界農業遺産ふるさと探訪②自然環境：鳴子温泉郷、鳴子峡、スキー③歴史・文化：大崎氏の居城跡および岩出山城跡④食文化：和食世界の文化遺産に登録済です。

老婆心ながら今回の見学会で感じたことは、大崎市は観光の材料が多くありながらもまだ点のみなので線にしなれないと思いません。観光立国日本一の大きな大崎市にするためには10年、20年先を見据えて首長、市議会議員、市民が同じ考えを持って動き出すことではない

「ふるさと探訪ツアー2019」に参加して 昭41卒 石川厚

この度、初めて参加させて頂きました。昭和41年古高を卒業以来、我が故郷とは縁もゆかりもない仕事に携わり65歳で現役を引退、ここ5、6年悠々自適の生活を楽しんでおります。今回のような世界農業遺産と大崎氏の史跡のツアーが目に残り、かねがね興味を持っていたことなので参加させて頂きました。大友さんのガイドはすばらしく貴重な体験をさせてもらいました。

また、恥ずかしながら紅葉の鳴子峡は初めてで、今まで見たこともなく旬の紅葉を味わうことができました。紅葉がこのように綺麗に色づくものとは思っていませんでした。都会では味わえない景色でした。こういった観光遺産が大崎地区にあるのですから、我が故郷もまだまだ捨てたものではないなあと感じました。これを皮切りに宮城県、特に大崎地区についていろいろな角度から見てみたいと思います。

私は旧田尻町北小松という田尻

でしようか。

①世界農業遺産をお見せする②大崎氏の史跡の環境整備を行いお見せする。③岩出山城郭の復元に少しづつ取り組み見せられる居城にする。④最後に見学の後は、鳴子温泉郷にお泊りいただくという構想はいかがでしょうか。

5カ所からなる鳴子温泉郷の環境整備も併せて推進しシャッター通りをなくし、きれいにすることも大事だと思います。

士志の会(11回生) 会長

でも僻地言われた所の生まれです。旧古川市と栗原郡の境界に近いところで、今回のツアーのルートでの木造千手観音坐像のあった小松寺の観音堂や萱刈潜穴は近所で、小学生時代は私の遊び場でした。

高校時代の古高まで通学ルートは、今回のツアーで行きました大崎氏三代大崎詮持が築城した小野城の本丸、梅香院の脇道を通り、北小松(実家)→小野→江合橋国道4号線バイパス→国道4号線→古高、自転車で約40分の道のりでした。

高校時代、この小野城は本丸の輪郭があり、本丸の上では畑を耕作しておりました。ただ、その時はこちらが大崎氏ゆかりの城跡ではないかなあと私自身の推測だけで、どういいうれわれがあったかは知る由もありませんでした。今回のツアーで大崎氏の歴史的背景を知ることができ、高校時代の私の疑問が払拭された感じがしました。50数年ぶりにみる小野城付近から私の実家のある北小松の景色は高校1年の時漢文の授業で習った杜甫の漢詩「春望」を思い出させるものがありました。(季節は春と秋の違いはありますが)

国破山河在 城春草木深  
感時花濺淚 恨別鳥驚心  
烽火連三月 家書抵萬金  
白頭搔更短 渾欲不勝簪  
最後にこのツアーを企画、随伴案内された皆様に深く感謝する次第です。

「ふるさと探訪ツアー」

2019に参加して

昭42卒 三浦 和夫

第7回目を迎えるというツアーですが、初めての参加です。私も

妻も田尻育ちで、二人の亡き両親の墓も田尻にあり、同級会や墓参等で毎年のように帰省しており、今更「ふるさと探訪」という気分になれなかったのが実情です。

しかし、今回は特別でした。会の「田尻駐在員」を自称する役員の大友文博氏は、小中時代からの我が同級生でもあり、①田尻の歴史(2014年)②小松寺の歴史の考察(2018年)③加護山国家安楽寺の考察(2019年)と立て続けに生地田尻の歴史考察を元に資料を作成し、我が郷土田尻の有用性と歴史的作用を地道に開陳してきたのを知っていたからです。

しかもツアーガイドを務めるといふ触れ込みでしたので、何が何でも参加し、実地検分してみたいかつたのです。

表敬訪問した母校古高、松山ふるさと歴史館、加護坊山、中鉢美術館、岩出山城趾公園を除く史跡の数々は、私が初めて訪れたものうち6カ所は生地田尻にあるのです。自分のあまりの無知を思い知らされ、それらが歴史的に果たしてきた役割の大きさに心打たれ、おらがふるさとをこんなにも誇らしく思えたことはありませんでした。

加護坊山頂に立ってみよう。西の大和朝廷が東国拠点に多賀城柵を構え、先住民蝦夷との抗争最前線基地として田尻の辺りにも柵を設置。半未開の地を開墾し、耕作地を拡大する。化女沼(古川)から蕪栗沼(田尻)に至る広大な湖沼湿地帯が広がる。それをも安定した耕作地として利用するため、

考案された治水のための隧道・潜穴の開削。それらを長期に渡り指揮し、従事してきた武士や農民の姿。瞑目しながら想像するとき、先人たちの叡知と嘗めてきた辛酸

が伝わってくるのです。

そんな瞬間を与えてくれたこの企画には唯々感謝です。綿密に組まれた行程表は、ツアーガイドの大友さん曰く「参加者の心得よろしくほぼ計画通り実施できた。雨番組、会員の要望を容れた追加見学をも可能にした。会員の意識レベルが高く、説明へのリアクションが半端でないため、内容の濃い解説補足につながった」そうです。さすが古高OBといったところでしょうか。

国の重文指定を受け、現在松山町に仮展示されている田尻小松寺の「木造千手観音坐像」は、近々完成する大崎市田尻総合支所にその座を得て、安置公開展示されていくという。新しい鎮座場所でのお姿を是非拝見したいものです。「そうだ、田尻へ行くこう」。

宿泊先、ロマン館の二次会部屋では宮城いや日本の銘米ササニシキを農業試験場古川分場で新品種として開発された先輩から直接の話も聞け、とても有意義なツアーでした。

会員による自由投稿

アラブ首長国連邦(UAE) / アブダビ便り

昭61卒 渡邊 博之



イスラエル出張時、嘆きの壁にて

昭和61年卒の渡邊です。2018年3月に出張したことすら無かったUAEのドバイ駐在となり、2019年1月から隣のアブダビ首長国に横異動しています。

「中東」と言うと、ものすごく暑い、砂漠、イスラム教の戒律が厳しい、独特の民族衣装、治安が悪い等いろいろイメージをお持ちかと想像します。日本でもホルムズ海峡での事件が紙面を賑わせましたが、実際に住むとネガティブな事は無く、特にUAEは中東の中ではかなりオープンで、治安も非常に良く、家族共々平和に生活しております。

UAEはアブダビやドバイ等の7つの首長国からなる、1971年に英国保護領から独立した若い国です。人口は1,000万人程で、アブダビ、ドバイにそれぞれ300万人程が住んでいますが、所謂「エミラティ」と呼ばれるUAE国籍を持つ人は10%程度の特権階級で、日系企業の駐在員も含め、90%は外国からの労働者です。その為、現地語はアラビア語ですが、通常会話は英語で通じます。

UAEのGDPの60%強をアブダビが、30%をドバイが占め、石油・ガス生産で潤うアブダビと、観光・物流ハブのドバイの地位が圧倒的です。政治体制は絶対君主制で、アブダビ首長が大統領を兼ねる慣習です。ドバイは石油に依存しない経済発展を優先し、開放政策をとった結果、地域の一大ハブに成長し、国際線利用客数では8,311万人と、世界1位となっています。

UAEでは、2018年1月から5%の付加価値税が導入されましたが、基本的に法人税や個人所得税が無く、それを売りにヒト、モノ、カネを集める戦略を取っています。

2020年に中東で初開催となるドバイ万博を控えて盛り上がりつつあり、マンションやホテルの建設ラッシュです。開放的なUAEですが、イスラム教国ですので、お酒、食材(特に豚肉)、服装等に関する制約・タブーは明確にあります。お酒はレストランや自宅で嗜む分は問題ありませんが、タクシーを含めて公共の場で泥酔するなどは厳禁です。軍事施設や石油施設等の撮影は禁止、モスクや空港の撮影にも注意が必要で、女性の撮影は禁止です。また、SNSやインターネット利用にも制約があります。



アブダビ国営石油会社のメンバーと(写真中央、左側が小生)

日本は原油の25%をUAEから輸入していますが、ほぼ全量アブダビ産です。アブダビでの私の仕事相手は、男性は白いカンドウラ、女性は黒いアバヤという民族衣装を着た国営石油会社等の「エミラティ」です。極めて親日で、日本ではあまり知られていませんが、アブダビ皇太子からの日本の教育を受けさせたいとの要請に応

じ、世界で唯一、現地国民を正式に受け入れているのがアブダビ日本人学校です。アブダビ日本人学校の生徒の3分の1が、「エミラティ」の子供達で、日本人の子供達と一緒に「文科省のプログラム」に基づき、「日本語」で学ぶ姿には大変感銘を受けました。日本は遠い国ですが、独特な存在として敬意と親しみを以って受け止められています。

皆様も是非、そんなUAEにお越しください！

(三菱商事株式会社  
アブダビ駐在事務所長)

### 古川高校 本部同窓会総会報告 昭42卒 大友 文博

8月11日(日)に古川のグラウンド平成で同窓会総会が開催され約140人が出席されました。在京同窓会からは鹿野会長、佐々木事務局長と下名が出席いたしました。

本年度は、伊藤同窓会長(昭47卒)の挨拶につき、新たに赴任された澁谷新校長の挨拶と鹿野在京同窓会長、関西雪会会の松浦副会長の祝辞がありました。

本部同窓会では生徒に対するサポート基金を充実させるべく各同窓会に基金への支援を働きかけています。事業報告や議案の審議の後、在京同窓会から今年度の「ふるさと探訪ツアー」について紹介いたしました。

講演は42年卒で元仙台市博物館館長の佐藤憲一氏で「国づくり」に懸けた伊達政宗の夢」というテーマでの講演でした。

政宗は18歳で家督を継ぎ、5年後の1589年には南奥羽の覇者になっている。また政宗は豊臣秀吉

に小田原参陣の遅れなどで1590年6月会津から米沢に移され、さらに葛西・大崎一揆後の1591年9月岩出山に国替えされている。岩出山には関ヶ原の合戦後1600年12月に仙台に移るまで10年ほどいたことになるが、講師によるとこの間、朝鮮出兵があり、政宗は大阪、京都に滞在し、岩出山には6か月程度しかいなかったというの驚きでした。

また政宗は若くして南奥羽の覇者になっているというが、1588年大崎氏12代義隆の時、中新田城に進軍し、大崎攻めを行ったが、敗れており(大崎合戦)、その後も執拗に大崎氏の攻略を謀っているが、この敗戦が政宗にとってはどれほど悔しい戦いであったかが想像でき、楽しませていただきました。



講演者佐藤憲一氏

### 築高同窓会東京支部 総会・懇親会に出席して 昭39年卒 後藤 雍正

7月6日(土)、千代田区竹橋のKKRホテル東京での、築館高等学校同窓会東京支部総会・懇親会に阿部眞会員(昭年51卒)と私が出席しました。鹿野会長は当日、急な用事で不参加となりました。

参加者は、現栗原市岩ヶ崎、迫桜、一迫商の同窓会の方々も参加して全体で100名以上、女性は三割ぐらいでした。

◆ミニ講演会…総会の前に講演会があり、今年には書家の鈴木敬一氏(築高14回生)が「師とのめぐり合い」を講演されました。

築高卒業後東京学芸大学書道科入学。入学後間もなく、書家で文化勲章受章者の金子鶴亭に師事し内弟子となる。高校教諭の後、現在書家として活躍中。

◆主要な作品は大学3年時に高野山開創1150年大法要記念献書、平成28年に高野山開創1200年記念献書のほか、築高100周年「臥薪嘗胆」作品寄贈、松戸市の歴史公園に「与謝野晶子歌」のプレート揮毫などがあります。毎日書道展、創女展、日展特選など多数受賞。金子鶴亭がよく言っていたことは、「師を否定せよ、師と同じことをやるな」ということ。また、何で自分が内弟子になれたのか不思議であったが、人づてに「あいつにはまだ変な癖がないから」と言っていたことが分かったとのことでした。

一方、鈴木氏の考える「書とは、白と黒の攻め合い」とのこと。氏の考える「いい書とは」、元気で若々しい字、男性的で伸びのある字のことであったが、伸びのある字のところ、水泳でも伸びある泳ぎがいいのと同じ、と言っていたことが印象に残りました。

◆総会・懇親会…総会は支部長と来賓紹介挨拶に続き、議案審議が無事終了しました。出席者全員が円卓に着席し、わが同窓会総会も築高に倣ってありますが、築高では一つ違っていましたが、各円卓で一人一人が各一分自己紹介をするという点です。

われわれは、岩ヶ崎高校や迫桜高同窓会の方々と同じテーブルでしたが、一分スピーチというのは短すぎるといふことと、他のテーブルの声も聞こえてきて、よく聞き取れないという点が気になりました。ただ、各テーブルで一人一人のスピーチという点は参考になると思いました。

アトラクションとして、築高OGの方による日本舞踊やドレス姿での歌の披露もあり、わが同窓会にはない華やかさがありました。

校歌斉唱では、旧制築館中学、築館高校、築館女子高校、現・築館高校の四種類を順番に斉唱しました。現・築館高校校歌の作曲者は、築高15回生の「みなみらんぼう」氏ですが、その姿も望見できました。

◆最後に…現在、どこの同窓会も会員が減少傾向にあり、会員増と会をいかに魅力あるものにするかが課題となっているようです。

同窓会を魅力あるものにする第一歩は、まず総会参加者が、「総会に来てよかった、また総会に来たい」と思えるようにすることではないかと思えます。

その一案として、懇親会において、各テーブルの一人一人が3分位ずつ発言する場を設けてはどうかと思っているところです。簡単な自己紹介、いま自分が取り組んでいること、関心のあること、はたまた困っていること、教えて貰いたいこと等を発表し、それに対する質問、アドバイスのやりとりを通じて、お互いにより知り合える場、自己実現(発散?)の場とする場、自己実現(発散?)の場とすることにより、懇親会がより充実したものになり、次の総会出席への動機にもなるのではないかと考えた次第です。

古川へお越しの際は  
お立ち寄りください

三陸本店  
創業 1972 年  
海鮮居酒屋 一筋!  
代表取締役 井上 秀隆  
昭和 42 年卒

宮城県大崎市古川駅前大通 2-3-6  
☎0229-22-0025  
11:30~14:00・16:30~24:00  
年中無休 12台  
http://www.sanriku.net/

複雑な税務問題の相談に応じます  
税理士鈴木博事務所

税理士 鈴木 博 (昭和46年卒)

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-5-1 第37森ビル1階  
(虎ノ門合同事務所)  
TEL 03 (3433) 0481 FAX 03 (3433) 0493  
E-mail : hiro0917@toranomom-ssta.com

# 会員通信

●令和元年度総会返信ハガキ通信欄から

●各位様の御健勝御多幸を祈念致します。  
(S22結城雅巳)

●平寿(90歳)になりましたが、元気に過ごしております。医学の勉強(午前中)と読書(伝記、評論など)にあけておりますが、遠出は控えております。伊藤会長によりしくお伝え下さい。  
(S22松本慶蔵)

●90才目前。何事も頑張り過ぎず、出来高払いでストレスを溜めないように、年令相応の健康維持に努めて生活しています。  
(S24齋藤 馨)

●令和のこれからの楽しく満足出来る毎日(過)したいと願っています。  
(S27佐藤清勝)

●春の恵(新曲)を練習中。尺八の古曲、新曲を吹奏。  
(S29湯本良師)

●眼が不自由になり、運転免許も返上しました。又、糖尿病が悪化し、心臓のカテーテル手術を5度めで今日(5月31日)退院してきたばかりです。もう出席することは出来ないません。  
(S30佐々木 豊)

●カナダの合唱団が五月に上尾市を訪れ、合同演奏会を行った。打ち上げパーティーでは、同窓会幹事の佐々木さんに紹介して貰ったお店のずんだ餅を振舞った。好評だったので良い考えだったとひとりで満足している。  
(S30高橋 廣)

●力もあやしくなってきたり、認知症予防にNHK囲碁対局を録画し、繰り返し盤上に並べて鑑賞しております。  
(S30手島篤郎)

●いつも有りがとうございます。毎日汗を流して仲間(約30人)と遊んでおります(T.B.G.)?  
(S30師山政夫)

●母校も年々充実して来ている由。校長先生からの報告を聞くのを楽しみにしております。  
(S31相澤昭男)

●民謡会の事務局長、地区グラウンドゴルフ会長と多忙の日々を過ごしております。  
(S33小堺 勉)

●慢性骨髄性白血病治療中。ゴルフ、年間60R。JAZZ VOCAL 20年。病気と共存と考えてます。  
(S33齋藤龍次郎)

●今年で80才。体力減少、歩行駄目、車のみ(これも近々数年で止め)。  
(S33山本道也)

●脾臓がんにになり、闘病生活を送っています。  
(S34篠崎喜巨)

●町内会の作業他は出席しておりますが、他の会合は出席しておりません。日常生活は毎朝散歩して健康に留意しております。  
(S34村上金吾)

●際交流ボランティア活動で多忙。又、第8回東北大地震復興支援祭実行委員長として今年も実施します。  
(S37中鉢泰平)

●寒い冬の東北地方でITハウスの栽培実証をするため、イチゴの冬期栽培を試みております。今年は温度管理が充分でなく、収穫は3月になってしまいました。  
(S38浅野勝吾)

●左ヒザ痛により人工関節手術を行い、現在休業しリハビリ中。年若い弱身ばかり。  
(S38門脇幹紘)

●渋谷区文化総合センターで開催される展示会のため、那須で制作活動中で残念ながら(総会を)欠席です。古高魂を大切に全力投球しています。  
(S38宮本信夫)

●野球は今年の夏こそ甲子園に行きたいと期待しています。頑張れ古高!!!  
(S40武田俊夫)

●今年も台湾の玉山(3952m)に登りに行っている日程と(総会が)重なつてしまいました。何時か皆さんとお会いしたいと思っています。  
(S42相澤 篤)

●仕事は順調で、アストンマーティン、マクラーレン等スーパーカーディーラーに好評です。海外取引も増えております。  
(S42澁谷誠一)

●病気の為、現在リハビリ通院しております。(総会に)参加出来ず残念です。  
(S42森谷里美)

●「古希」を迎えます。放送大学大学院にて、心理学、教育学、を二本柱にし、学び続けています。  
(S44岡村 明)

●今年4月より、持ち回りの町内自治会の仕事を担当。同じ区の登戸の事件が気になります。パトロールも健康のためと思っていたのですが!  
(S46遠藤 孝)

●仙台から岩出山への、通い農業。  
(S46遠藤 孝)

●右手指障害で無職になり、今は後輩の活躍、特に今夏野球部を楽しみにしています。  
(S45馬場 博)

●太陽光設備工事で真黒に日焼してます。  
(S47小嶋 進)

●隔週で福岡で勤務をしております。  
(S47松本秀一)

●同期の相澤君に(同窓会に)誘われました。本年3月末に大学を定年退職し、無職となりました。犬の散歩と家事が現在の仕事です。  
(S47板垣 宏)

●東京から伊豆市に引越して5年目です。伊豆半島の病院に血液を供給する仕事をしています。65才まで働きます。  
(S50柳川公明)

●味の素を定年退職し、三井物産で仕事をしています。  
(S51阿部重光)

●2019年4月より立正大学文学部社会学科で教えております。  
(S55鈴木健之)

●当日(総会)は、将棋日本シリーズJTプロ公式戦東北大会対応のため、仙台に出張予定です。  
(S56佐々木治道)

●心よりご冥福をお祈りいたします

●門脇 健氏(昭24年卒)  
I在京同窓会相談役(令和元年11月13日)  
土田 英彦氏(昭30年卒)  
令和元年9月24日  
岩淵 勝好氏(昭39年卒)  
平成30年9月25日

## 編集後記

台風の影響で、ふるさと探訪ツアーの2日目は雨の予報で、野外の名所・史跡見学が中心なのでヒヤヒヤしましたが、何とか小雨でホッとしました。(大友)



**MOTOR SPORTS OIL**  
**FORTEC**  
Ecoオイルからレーシングオイル開発に携わり、国内、海外展開をしている。  
FORTEC モータースポーツオイル発売元  
耐久レース、ラリー、ダートトライアル、ジムカーナ等のサポートドライバーが大活躍しております。

代表取締役 渋谷 誠一(昭和42年卒)  
**フォルテック株式会社**  
〒270-1108 千葉県我孫子市布佐平和台4-5-23  
TEL 04-7189-4117 FAX 04-7189-2687  
<http://www.fortec-oil.com/>

BIPは、企業様と共に事業開発・経営改善に取り組み、第2・第3の成長を創るパートナー

**BIP Business Integration Partners**  
**BIP株式会社**  
取締役会長 佐々木 昭美

昭和42年卒

東京本社 東京都中央区日本橋1丁目2-10 東洋ビル6F  
TEL: 03-5542-1417 FAX: 03-5542-1418  
東北事業所 宮城県仙台市青葉区中央1-2-3 仙台マークワン19F  
TEL: 022-208-9322

E-mail: info@bi-p.co.jp URL: http://www.bi-p.co.jp